

小中一貫教育のモデル 新潟市

制度化された学校		従来の小中学校
義務教育学校	小中一貫型小中学校 (併設型・連携型)	運営上の小中一貫教育
		
校長1人	各校に校長1人	各校に校長1人
独自教科設定・小中で指導内容入替あり		なし
9年間の教育目標設定 9年間の系統性・体系性に配慮		
市町村の条例による	市町村教委の規則による	なし

小中一貫教育のモデルとしては、4つありますが、真ん中のモデルを1つにまとめて、3つで説明します。

まずは「義務教育学校」で、県内では三条市の大崎学園があてはまります。小中合わせて校長が1名です。湯沢学園や十日町市のまつのやま学園は、校舎が一緒ですが、小中に教育課程が分かれていて校長も別にいるので、分類としては真ん中の「小中一貫型小中学校」になります。「小中一貫型小中学校」は、小中にそれぞれ校長が1名で、基本的には建物ではつながっていないところが多いですが、独自教科の設定や小中の指導内容の入替が可能となります。いずれも条例や規則により、制度化された学校です。

最後は、制度化されず従来の小中学校のままで、小中一貫の定義である、「9年間の教育目標設定」「9年間の系統性・体系性に配慮」がなされたモデルです。新潟市はこの「運営上の小中一貫教育」をモデルとし、小中一貫した教育を推進していきます。